

# 首里城復興に関連した取組について

内閣府沖縄振興局

令和7年6月

# 沖縄県による首里城復興基金等の活用について

○沖縄県は、首里城火災からの復興を目的とする費用の財源に充てることを目的に設置した「首里城復興基金」を活用し、令和4年度、正殿の柱や梁となる大径材（国産ヒノキ、国産イヌマキ、県産オキナワウラジロガシ）の調達を実施。令和5年度から正殿復元工事の工程と併せて、赤瓦、彫刻物等の本格的な製作に着手。

○また、首里城に象徴される沖縄の歴史と文化の継承に取り組むため、新たに「首里城未来基金」を令和4年4月に創設。基金を活用して技術者・職人等を対象とした伝統技術に関する研修を令和5年度から実施。

## 【首里城復興基金の活用状況】

（約55.4億円/R4.3受付終了）

### ・大径材の調達状況



ヒノキ



イヌマキ



オキナワウラジロガシ

### ・県製作物の作業状況



大龍柱 製作状況  
(荒彫り)



扁額「中山世土」 製作状況  
(題字髹漆(上)/額縁彫刻(下))



完成イメージ

### ・県製作物の搬入状況



県産赤瓦の正殿搬入状況及び瓦葺き状況



※県製作物は首里城内で国へ引渡し  
(彩色や設置等の現場作業は基金事業に含まない。)

## 【首里城未来基金の概要】（約6億円/R7.3時点）

・目的: 首里城に象徴される固有の歴史と文化の継承

・対象事業

(1) 伝統的な建築等の技術に係る人材育成事業

例) 伝統的な建築物木工(宮大工等)、彫刻、塗装・彩色等の技術者育成

(2) 古都首里の歴史的空間創出に係る事業

例) 首里城周辺の歴史・文化施設整備、首里城城壁等の修復、歴史街づくりの推進など

[参考] 首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定の締結

・協定締結機関

内閣府 沖縄総合事務局、沖縄県、沖縄美ら島財団、沖縄県立芸術大学

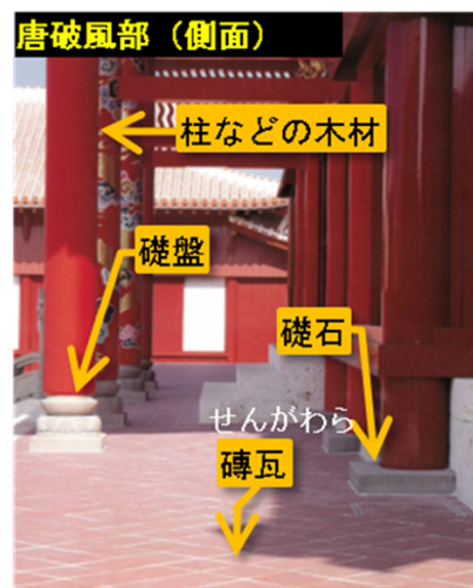
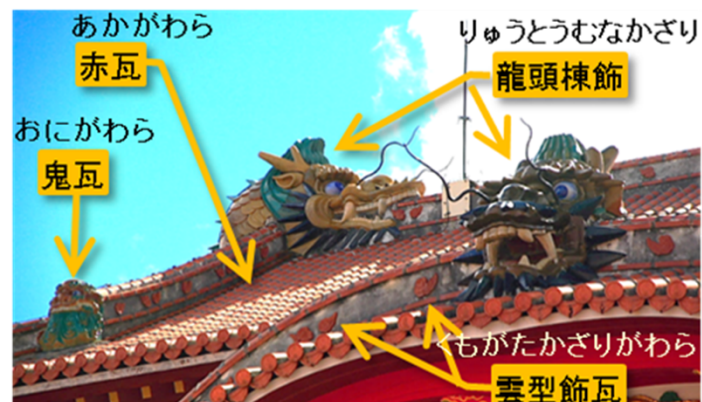
・協定の目的

復元を進めている首里城において、各機関が連携して、正殿や北殿・南殿等の焼失建物の復元、さらに復元後の保存修復等に必要となる伝統技術の継承をすべく、持続可能なかたちで復元、保存修復等の技術を有する人材の育成を推進





# (参考) 首里城復興基金の主な活用予定箇所





# 首里城公園 中城御殿の概要 (県事業)

- 中城御殿は、首里城公園（県営公園区域）に立地する琉球王家であった尚家の屋敷。1874年に琉球王国の世継ぎの屋敷として建てられ、1945年に沖縄戦で焼失。
- これまで、県では跡地の整備を検討してきたところ、令和元年に焼失した首里城の復元（国の直轄事業として実施中）とあいまって機運が醸成。首里城正殿の復元が完成する令和8年秋の完成・公開を目指し、国交省所管の都市公園事業として国庫補助（沖縄振興予算として内閣府に一括計上）を受け整備中。
- 首里城にゆかりのある貴重な文化財を収蔵・展示する等、琉球の歴史・文化に関する情報発信・体験・交流等の拠点施設として整備。





# 首里城復興に関連したイベントの開催

○令和8年の首里城正殿の復元に向け、復興の機運を一層高めること等を目的に、毎年様々なイベントが開催。

## ▼首里城復興祭

主催：首里城祭実行委員会（会長：知念那覇市長）

共催：那覇市、首里振興会、（株）琉球新報社、  
那覇市国際通り商店街振興組合連合会、  
（一財）沖縄美ら島財団



## ▼首里城復興イベント「首里城ファンタジアナイト」

主催：沖縄県

